

3 市内2団体が「花いっぱい運動 定着化促進事業『認定証』」を 受けました

12/1

「令和4年度花いっぱい運動定着化促進事業」の認定証交付式が、茨城県水戸生涯学習センターで開催され、市内からは「大田町寿会」と「旭町西区会」が認定団体となりました。

花いっぱい運動定着化促進事業は、チャレンジいばらき県民運動などが主催。環境美化意識や自然を愛する感性を育むとともに、花壇づくりを通して地域コミュニティの再生・活性化に取り組んでいる団体や学校を支援しています。

今回認定された2団体は、どちらも地区内の花壇整備などを継続的に行っていて、地域での取り組みが高く評価されました。



大田町寿会は水戸地区の高齢者クラブです



旭町西区会はJR岩間駅西側に位置する行政区の団体です

4 地元に想いを届ける 「私の地元応援募金」を いただきました

12/9

明治安田生命保険相互会社から508,500円の寄附をいただきました。

3年目となるこの寄附は「豊かな地域社会づくりを応援するために」と、明治安田生命従業員の皆さんの募金と会社からの寄附として行われている「私の地元応援募金」としていただいたものです。

寄附金はパラスポーツ啓発事業に活用させていただきます。



(左から) 山口市長、明治安田生命保険相互会社水戸支社 中平支社長



1 サイクルフェスRIDE in 笠間 2022を開催

11/26

「サイクルフェス」として2つのイベントが開催されました。「陶の里ポタリング」では1時間ほど自転車で市内を巡った後、車での移動に切り替え、その後陶芸体験などを楽しみました。

また、笠間中央公園で行われた「スポーツ&モビリティフェス」では、BMXやキックボード体験、ふれあい動物園、プロバスケットボールチーム「茨城BACK BONE」によるエキシビションなどのイベントが行われ、訪れた皆さんは元気にフェスを楽しんでいました。



「陶の里ポタリング」を楽しむ皆さん

2 子どもたちのための寄附を いただきました

12/7

笠間市ががんばる企業応援連絡会の会員である有限会社三共金属工業所から、笠間市社会福祉協議会に対して寄附をいただきました。

同社は「子どもたちのために」と毎年寄附をされており、鈴木社長は「笠間市内の企業として役に立ちたいという思いがあります。支援の必要な方に役立ててください」と話されました。

寄附はご意向に沿って活用される予定です。



(左から) 有限会社三共金属工業所 鈴木社長、笠間市社会福祉協議会 松田事務局長

7 スマホでのキャッシュレス決済を学びました

12/15

笠間市立公民館が主催する「かさま志民大学」のデジタルコースで、「スマホでキャッシュレス決済」の講座が開催されました。

「キャッシュレス決済って何だろう」そのような疑問を少しでも解消できるよう、便利でお得な使い方や仕組みを学びました。

社会全体でデジタル化が進んでいます。市では、今後もデジタル活用の支援に取り組んでいきます。



講師から説明を受ける受講者

5 「かさま音楽フェスタ～奏～」開催

12/11

「かさま音楽フェスタ～奏～^{かさい うの こうへい}上野耕平サクソフォン・リサイタル」が笠間公民館で開催されました。

上野さんは、ピアニストの高橋優介^{たかはしゆうすけ}さんとともに登壇。ソプラノサクソフォンによる「G線上のアリア」やアルトサクソフォンによるリード作曲の「バラード」を演奏。上野さんは「茨城の田舎の風景を感じさせる曲。山の向こうに日が暮れていくような感じ」と茨城をイメージした演奏を披露しました。

サクソフォンの調べが笠間の空に響きわたり、訪れた市民を音楽のとりこにしているようでした。



演奏する上野さん

8 年末も安全で安心な地域づくりを

12/16

年末の犯罪抑止活動（12月17日から31日まで）に伴い、年末特別警戒防犯パトロール出発式が行われました。

出発式には笠間地区防犯協会をはじめ、笠間警察署や防犯関係団体約70名が参加。市役所本所前で行的された出発宣言後、パトカーや青色パトロール車がパトロールに出発しました。

年末のパトロールありがとうございました。



市役所本所前での出発式の様子

6 陣羽織をまとい 義士に思いを馳せる

12/14

「忠臣蔵」で知られる赤穂義士のうち3名が笠間藩出身であることから、笠間市にも縁の深い吉良邸討ち入りの日に、笠間稲荷門前通りを中心に義士パレードが行われました。

陣羽織をまとった笠間義士会の皆さんや一般参加者など38名が、笠間稲荷神社から大石邸跡までを練り歩き、赤穂義士に思いを馳せました。



赤穂義士に扮して通りを練り歩く参加者

11 五平のワーホイ祭り！

1/7

五平地区（鯉淵）で3年ぶりにワーホイ祭りが行われました。

竹やワラで櫓を組んで正月飾りやしめ縄と一緒に焚き上げるこのお祭りは、地域によって呼び名が異なり、「どんと焼き」と言うところもあります。

高く上がる火柱に五穀豊穡を願い、篠にさした餅をこの炎で焼いて食べ、一年間の無病息災を願います。

晴れ渡る冬空の下、参加した皆さんは、久しぶりの「まつり」を笑顔で楽しんでいました。



焚き上げの様子

9 ポレポレにデジタルサイネージを設置

12/20

市と株式会社サイネックスは、官民協働の取り組みとして、笠間ショッピングセンターポレポレシティにデジタルサイネージを設置しました。

行政情報や観光情報などを、多くの方が集まる商業施設で発信し、市民の皆さんへの情報発信をさらにすすめます。

また、地域事業者の広告も発信することで、地域経済の活性化にもつながります。

ポレポレでお買い物の際は、ぜひご覧ください。



ポレポレシティ1階セントラルコート脇に設置

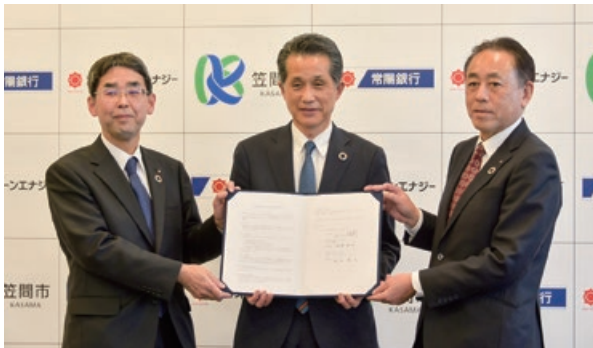
12 脱炭素の取り組みを加速

1/12

笠間市・株式会社常陽銀行・常陽グリーンエネルギー株式会社は、地域脱炭素の早期実現を目指した公民連携協定を締結しました。

市は、令和2年7月に「プラスチックごみゼロ宣言」を行い循環型社会の実現に向けた取り組みを、令和3年4月には「ゼロカーボンシティ宣言」を行い環境先進都市を目指した取り組みを進めています。

今後、3者それぞれの知識や技術を組み合わせ、2050年カーボンニュートラルの早期実現を目指します。



(左から) 常陽グリーンエネルギー株式会社 池田重人取締役社長、山口市長、株式会社常陽銀行 秋野哲也取締役頭取

10 地元の食に触れる米粉パン登場

10/25・12/20

「地元のおいしさを知ってほしい!」そんな想いから、笠間産のお米を使った米粉パンが、ともべ・くるす両保育所のおやつに登場しました。

市内にある「森の石窯パン屋さん」が製造した米粉パンに、1回目はみたらしのたれを、2回目は笠間栗ファクトリーの栗ペーストに生クリームを混ぜた特製マロンクリームを挟み、おやつに食べました。

子どもたちは「おいしい」「また食べたい」と、笑顔いっぱいに感想を話してくれました。



米粉パンを食べる子どもたち